

令和2年8月31日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報 (2020年7月) について

このたび、京都市観光協会データ月報 (2020年7月) をとりまとめましたのでお知らせします。
今月から対象ホテル数が 59 ホテルから 2 施設増加し、61 ホテルになりました。

1 調査結果のポイント

延べ宿泊客数・外国人比率

日本人延べ宿泊客数は前年同月比の約 5 割まで回復するも、外国人客はほぼゼロの状況が続く (P6~7)

- 京都市内 61 ホテルにおける 2020 年 7 月の日本人延べ宿泊客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同月比 50.1%減となったものの、2 カ月連続で改善している。6 月 19 日以降、全国的に都道府県を跨ぐ移動や旅行も解禁されたことに加え、国や京都市における消費喚起キャンペーンの開始や、昨年は 3 日間だった連休が 4 日間となったこと等が影響したと考えられる。
- 外国人延べ宿泊客数は、前年同月比 99.8%減の 579 人となり、全ての国・地域において外国人の宿泊がほぼゼロとなる状況が 4 ヶ月にわたり続いている。
- 日本全体でも外国人客の入国はほぼゼロとなる状態が続いており、JNTO の発表によると、7 月の訪日外客数 (実人数) は前年同月比 99.9%減の 3,800 人となり、10 ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 日本人と外国人を合わせた総延べ宿泊客数は同 78.6%減となり、2 ヶ月連続で改善している。また、外国人比率は前年同月より 56.9 ポイント低い 0.5%となり 5 ヶ月連続で単月としての最低値を更新した。

客室稼働率

客室稼働率は 20.1%と日本人客の需要回復にともない微増傾向 (P7)

- 客室稼働率[※]は、前月 (15.5%) よりも 4.6 ポイント高い 20.1%となった。
- 営業を再開するホテルが増えたことで販売可能客室数が増えつつも、客室稼働率は 3 ヶ月連続で前月を上回っていることから、宿泊需要は徐々に回復している。とはいえ、前年同月と比較すると 57.0 ポイント低い値であり、ホテルにとっては依然として厳しい水準が続いている。

	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月
客室稼働率	5.8%	6.5%	15.5%	20.1%
販売可能客室数	289,946 室	171,319 室	249,885 室	370,183 室
伸率 (前年比)	▲16.4%	▲55.3%	▲15.2%	▲3.8%

※月ごとに調査対象施設における臨時休業状況を考慮して算出しています。算出方法は P3 を参照してください。

平均客室単価（ADR）・客室収益指数（RevPAR）

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

その他

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではあるが、市内のホテル・旅館施設数は本年度に入ってから、僅かながらに増加を続けている。一方で、簡易宿所では、新規許可件数を許可終了件数が上回り、インバウンド観光の伸長と共に拡大を続けてきた施設数に減少の兆しが見えている（P11）。
- インバウンド観光需要の蒸発に伴い7月の免税件数は前年同月と比較して99.4%減少し、これに伴い免税売上額も同98.4%減と大きく減少した。また、京都駅観光総合案内所の利用者数も前年同月から85.5%減と大きく減少している（P12-13）。
- ビッグデータをもとにして京都市が発表する来訪者数や交通機関の利用状況の推移によると、7月は6月末に急増した際の水準を上回ることなく横ばいが続き、4連休期間も目立った増加は無かった（P15）。
- 7月22日からは国が主導する全国的な観光振興キャンペーン「Go To トラベル」が開始されているが、ビッグデータに基づく京都駅の来訪者数は、京都府を中心とした近畿地方からの割合が大半を占める状況が続いている（P15）。

8月以降の見通し

- Go To トラベル キャンペーンが開始され、夏休みシーズン等も追い風となる一方で、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者数は増加しており、感染拡大状況によっては、需要の回復に歯止めがかかる可能性がある。引き続き市場動向を注視したい。
- 全世界の感染者数は、8月11日時点では2,000万人を超えるなど、全世界的な感染拡大が続く一方で、国連世界観光機関（UNWTO）が7月末に発表したレポートでは、217ヶ国・地域のうち約4割が、国際的な入国規制を緩和し始めている。日本でも9月以降は在留資格のある外国人の再入国制限を緩和する方針が示されており、訪日受け入れが徐々に回復する可能性がある。
- 日本人の国内観光および外国人の訪日観光に関する予約や検索の動向は、お盆期間に一時的に改善し、とくに航空予約は前年比40%減の水準にまで回復した模様である。しかしながら9月以降は、航空が前年比約90%減、宿泊も同約70%減と落ち込みが続く見通しである。先行きが不透明なことから、旅行直前まで検索や予約を行わない人が多く、事業者側にとっては収益の予測が難しい状況が続く（P16）。しかしながら、10月以降の予約サイトにおける販売価格はお盆期間に匹敵している。宿泊施設がGo To トラベル キャンペーンの効果を期待していることで、販売価格の底上げが起こっているものと考えられる（P14）。

2 調査概要

(1) 全体概要

京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ人数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。

なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義している。※過去の調査結果は当協会ウェブサイトに掲載：<https://www.kyokanko.or.jp/report/>

(2) 対象ホテル

・61 ホテル 12,776 室（2020 年 7 月現在）

※京都市内ホテルの客室数ベースで約 4 割をカバー（京都市観光協会調べ）

※前年と本年では対象ホテル・客室数が異なるため、今回発表する前年の数値は、昨年発表した数値と異なる場合がある。なお、対象ホテルにおいては、調査対象月における前年と本年の数値をいただいている。

※P10 の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記 61 ホテルとは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「販売可能客室数」・・・日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有するホテルにて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合

販売可能客室数：80 室×30 日 = 2,400 室

「客室稼働率」・・・「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」・・・「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」・・・「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」・・・「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間（2020 年 7 月 1 日～7 月 31 日）中、対象ホテルが臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出する。

例) 100 部屋を有するホテルが、以下のように営業をしていた場合

① 7 月 1 日～10 日期間（10 日）は 100 室のまま通常営業し、利用のあった客室数は 200 室

② 7 月 11 日～20 日期間（10 日）は客室数を 50 室に絞って営業し、利用のあった客室数は 100 室

③ 7 月 21 日～31 日の期間（11 日）は休業

販売可能客室数：100 室×10 日（①期間） + 50 室×10 日（②期間） = 1,500 室

客室稼働率：利用のあった客室数 300 室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数 1,500 室 = 20%

(参考) 61 ホテルにおける 2020 年 7 月（7 月 1 日～7 月 31 日）の臨時休業状況

臨時休業日数	全日休業 (31 日間)	20 日以上 ～31 日未満	10 日以上 ～20 日未満	10 日未満	休業なし
施設数	5 (8.2%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (90.2%)

(5) その他

本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。

ただし、P10のSTRデータについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。なお、報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当：加藤)までお問合せください。

<京都観光総合調査との関連について>

京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設(旅館業法許可施設)を対象とする「京都観光総合調査」(京都市から年1回発表)が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数(日本全体)との比較等も参考分析という位置づけとなる。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL：075-213-0070 e-mail：marketing@kyokanko.or.jp

担当：マーケティング課 嵯峨、堀江、加藤

京都市観光協会データ月報（2020年7月）

【索引】

1	宿泊客数の伸率（延べ人数）	6
2	宿泊客数伸率の推移（延べ人数）	6
3	客室稼働率・外国人比率の推移	7
4	構成比（国・地域別）（延べ人数）	8
5	伸率（国・地域別）（延べ人数）	9
【参考 1】	客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）	10
【参考 2】	京都市内の宿泊施設数・客室の推移（出典：京都市 許可施設数の推移）	11
【参考 3】	京都市内 4 百貨店における免税売上	12
【参考 4】	京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル 2 階	13
【参考 5】	宿泊予約サイトにおける 3 ヶ月先までの客室販売価格の推移	14
【参考 6】	ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況	15
【参考 7】	今後の需要見通しに関するデータ（2020年8月27日時点）	16
【参考 8】	為替レートの推移	18
	京都 61 ホテル宿泊状況調査結果詳細（2020年7月）	19

京都 61 ホテル 宿泊状況調査結果（2020年7月）

1 宿泊客数の伸率（延べ人数）

	2020年7月	2019年7月	伸率
日本人宿泊客数	115,449人	231,582人	▲50.1%
外国人宿泊客数	579人	311,448人	▲99.8%
総宿泊客数	116,028人	543,030人	▲78.6%
販売可能客室数	370,183室	384,992室	▲3.8%

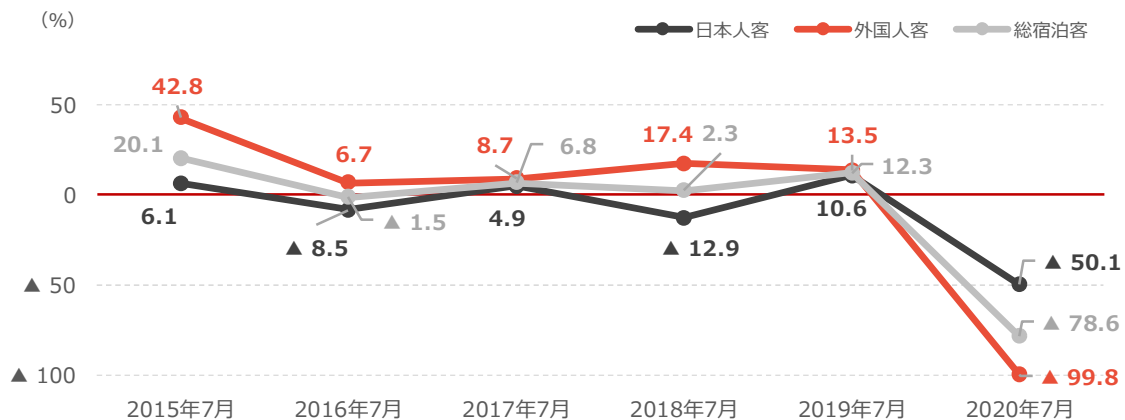
【参考】 訪日外客数（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）推計値

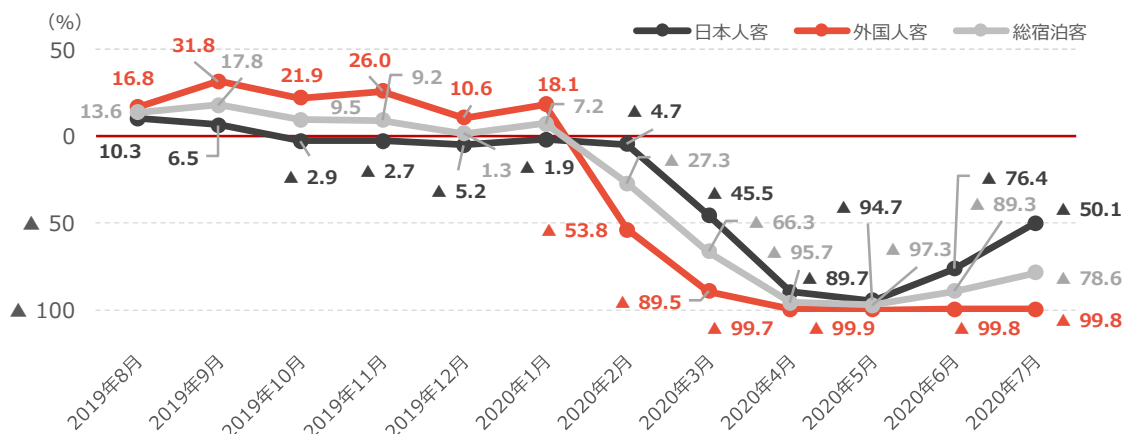
	2020年7月	2019年7月	伸率
訪日外客数	3,800人	2,991,189人	▲99.9%

注）訪日外客数は実人数での集計のため、京都61ホテルの数値と比較する際には、巻末の集計表に記載の実人数を参照してください。

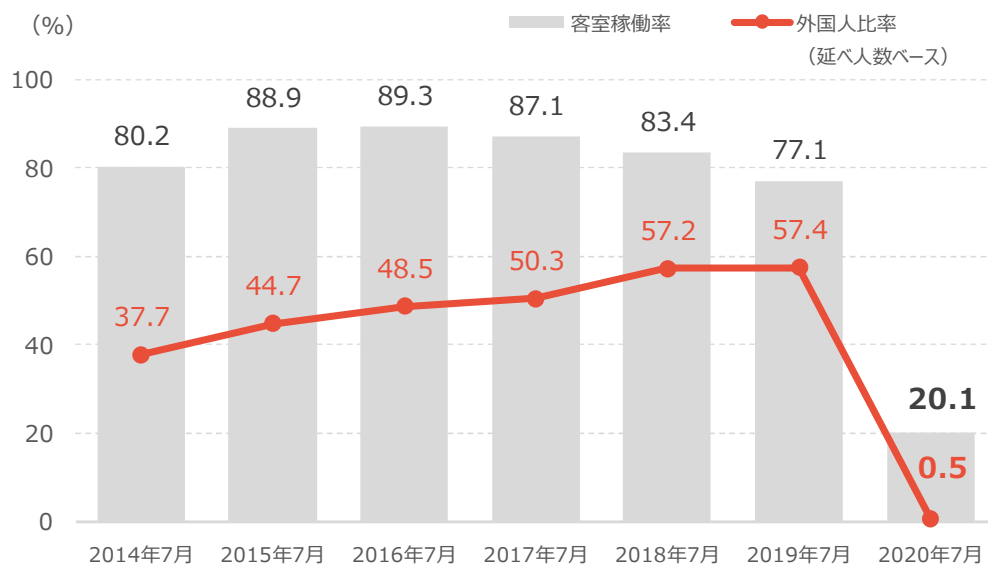
2 宿泊客数伸率の推移（延べ人数）



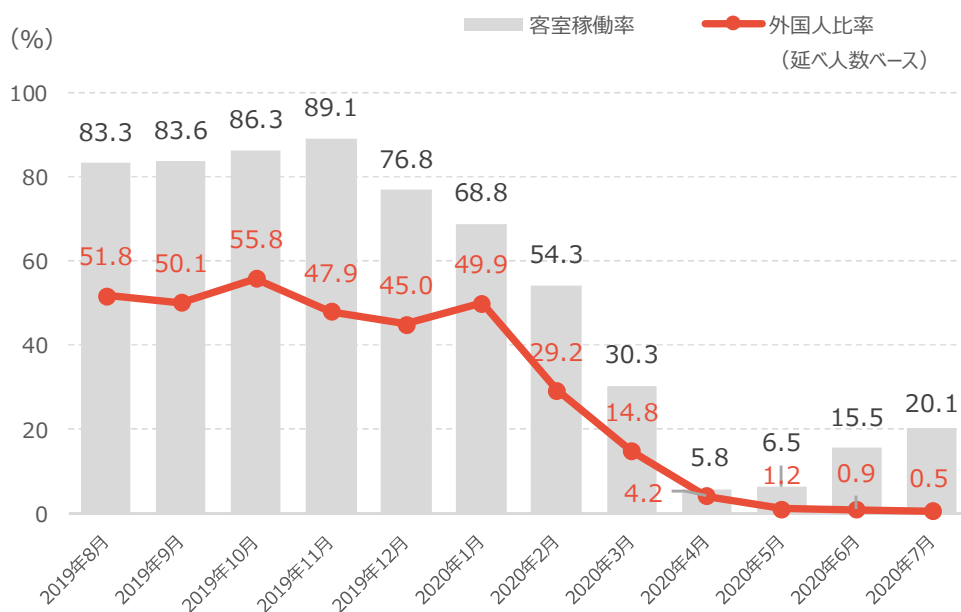
【参考】 直近1年間の月別推移



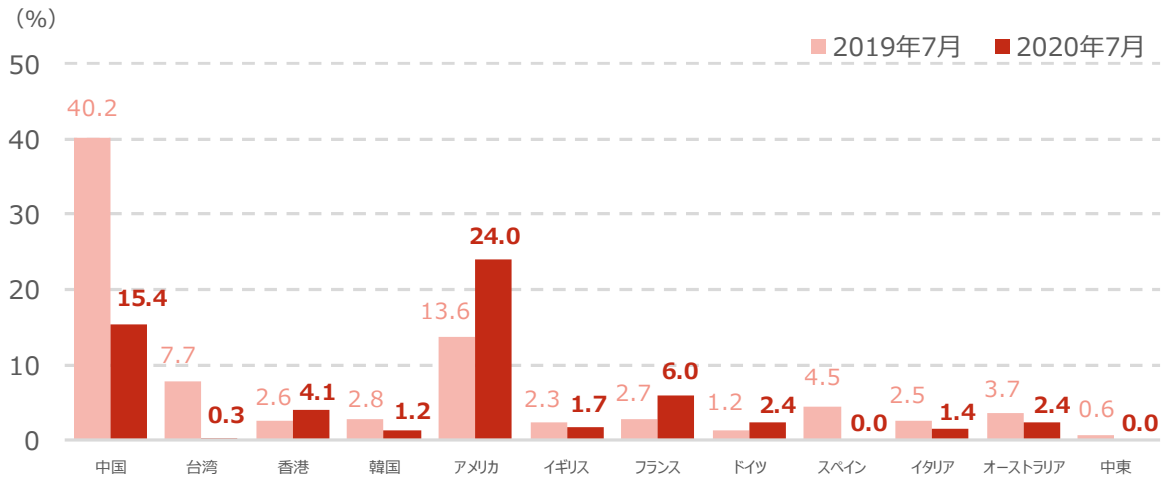
3 客室稼働率・外国人比率の推移



【参考】直近1年間の月別推移

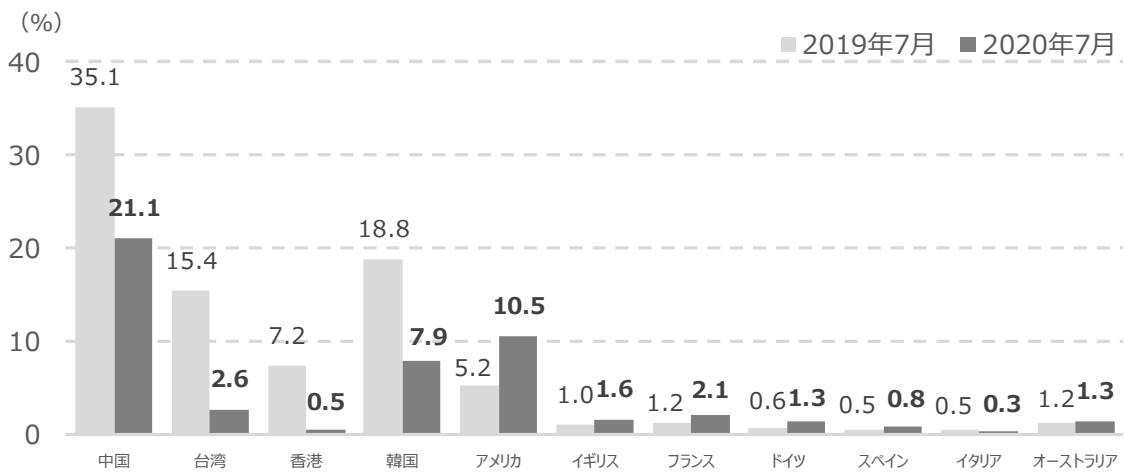


4 構成比（国・地域別）（延べ人数）

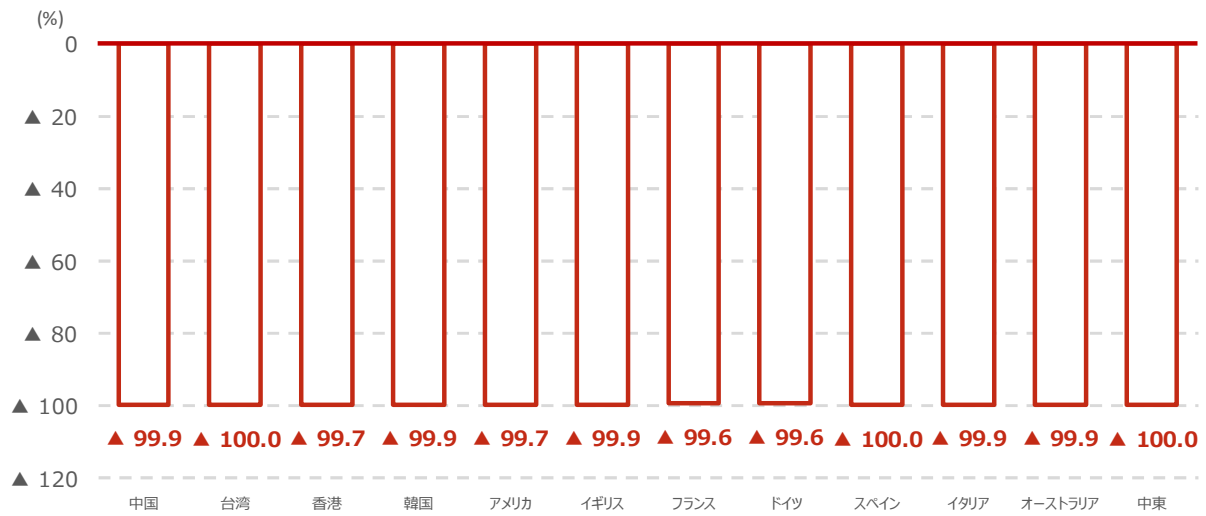


【参考】訪日外客数・構成比（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）

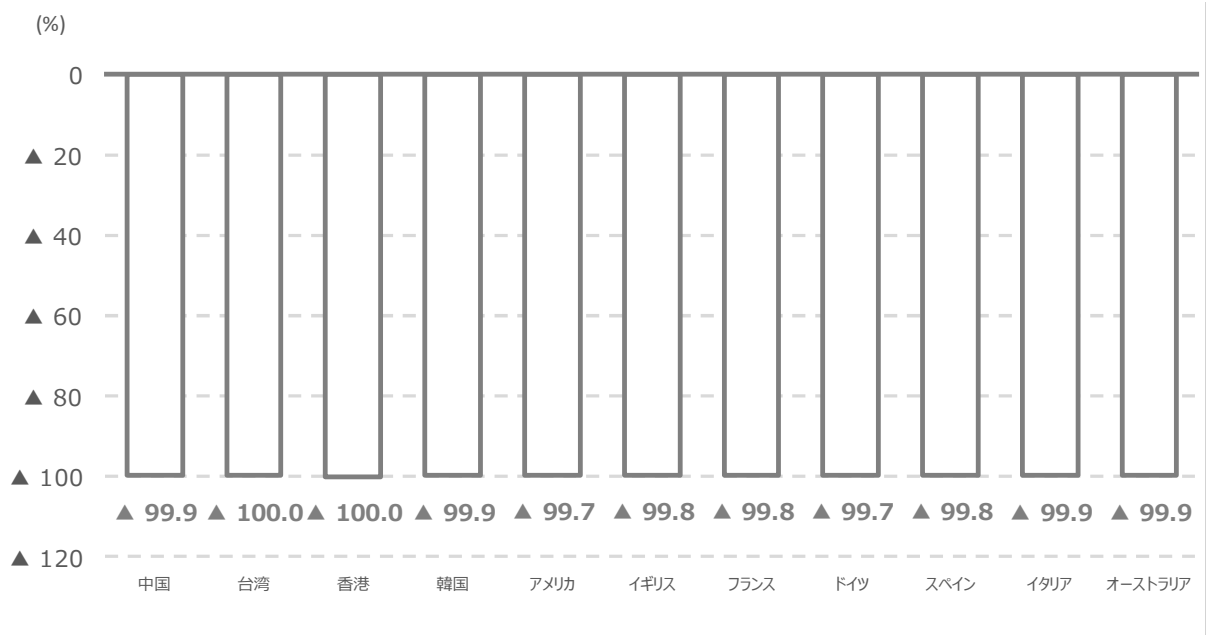


5 伸率（国・地域別）（延べ人数）



【参考】訪日外客数・伸率（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）

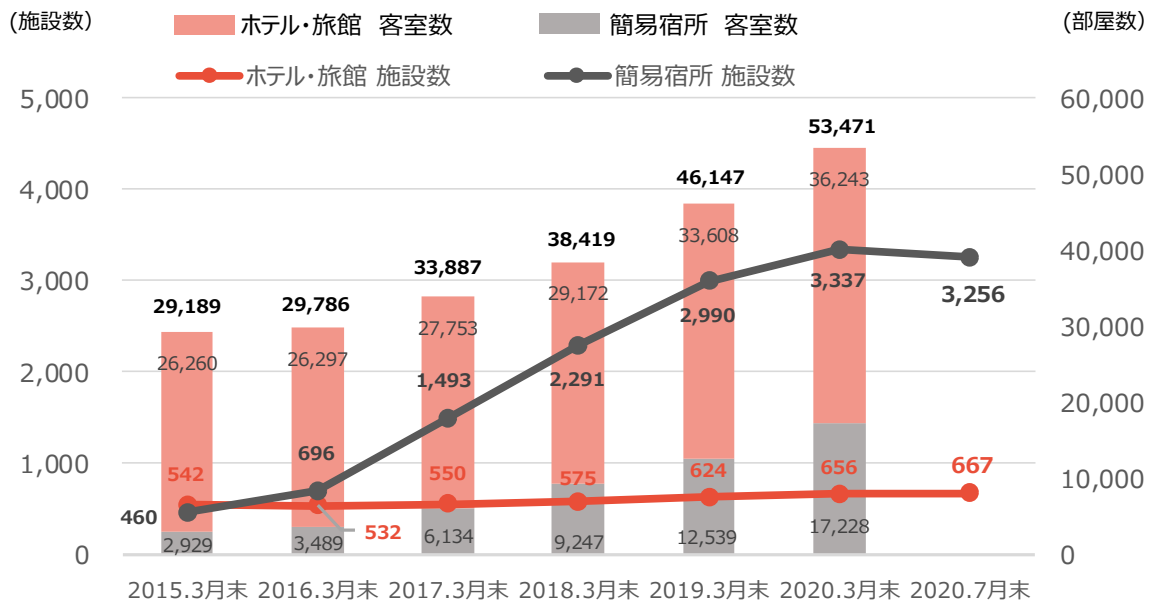


【参考1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR （2020年7月）

STR との契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

【参考2】京都市内の宿泊施設数・客室の推移（出典：京都市 許可施設数の推移）



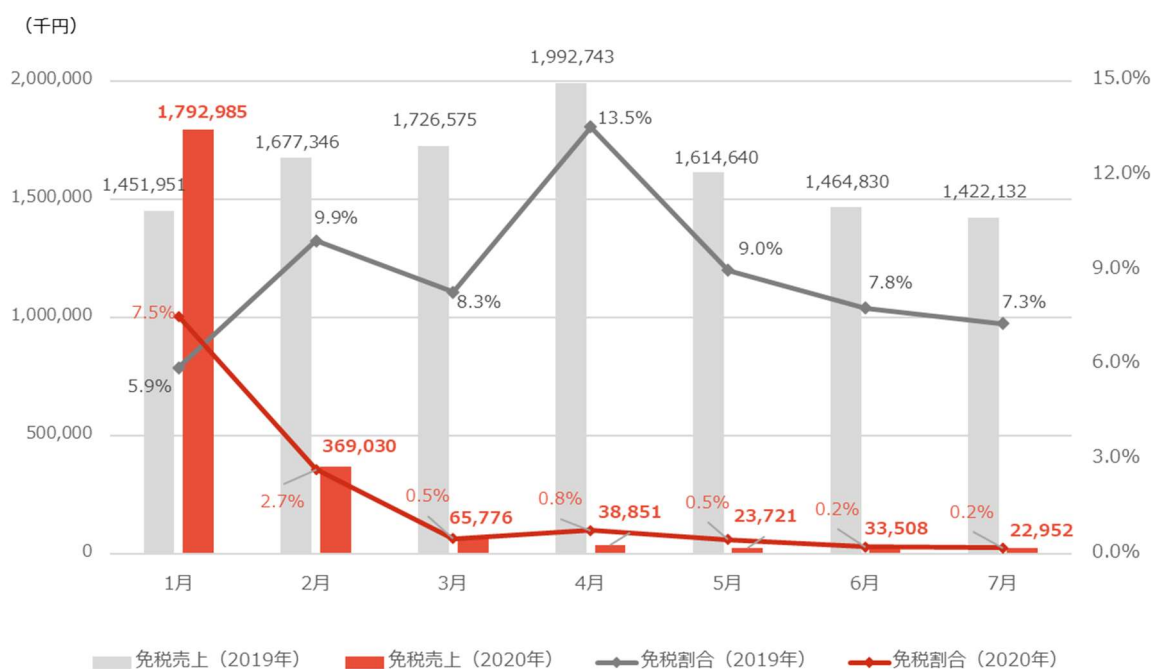
【参考3】京都市内4百貨店における免税売上

免税売上および総売上

	2020年7月	2019年7月	伸率・前年同月差
免税件数	176件	30,118件	▲99.4%
免税単価	130,411円	47,219円	176.2%
免税売上額	2,295万円	14億2,213万円	▲98.4%
総売上額	149億9,708万円	194億9,129万円	▲23.1%
免税売上割合	0.2%	7.3%	7.1ポイント減

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上等も含まれる（税別）

免税売上、免税割合の推移（2020年1月～7月）



免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

順位	2020年7月			2019年7月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	69.4%	▲12.7ポイント	中国	82.1%
2	台湾	3.9%	0.4ポイント	台湾	3.5%
3	カナダ	1.5%	0.9ポイント	香港	2.8%
4	韓国	1.0%	▲0.8ポイント	韓国	1.8%
5	香港	0.5%	▲2.3ポイント	アメリカ	1.6%

【参考4】 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル 2階

相談者数（人）	2020年7月	2019年7月	伸率・前年差
日本人	7,184	25,486	▲71.8%
外国人	265	26,052	▲99.0%
合計	7,449	51,538	▲85.5%
外国人比率	3.6%	50.6%	▲47.0ポイント

来所者数 (自動カウント機による)	2020年7月	2019年7月	伸率・前年差
	26,561	112,295	▲76.3%

外国人相談者における国・地域別割合

順位	2020年7月			2019年7月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	17.5%	▲1.7ポイント	中国	19.2%
2	イギリス	13.4%	11.3ポイント	アメリカ	12.1%
3	アメリカ	13.4%	1.3ポイント	韓国	7.6%
4	フィリピン	11.6%	9.5ポイント	フランス	7.3%
5	インド	7.8%	6.6ポイント	台湾	6.7%

※2020年7月 韓国 3.7%、台湾・フランス 0%

※2019年7月 フィリピン 2.1%、インド 1.2%

【参考 5】 宿泊予約サイトにおける 3 ヶ月先までの客室販売価格の推移

- 10 月以降の宿泊に対する販売価格は、お盆期間や 9 月の連休（シルバーウィーク）に匹敵する水準が続いている。Go To トラベル キャンペーン等の消費喚起策の影響で、販売価格を高く設定する施設が増え始めていると考えられる。
- 10 月以降の販売価格も 17,000 円台を超えており、徐々に価格設定が高まっている。

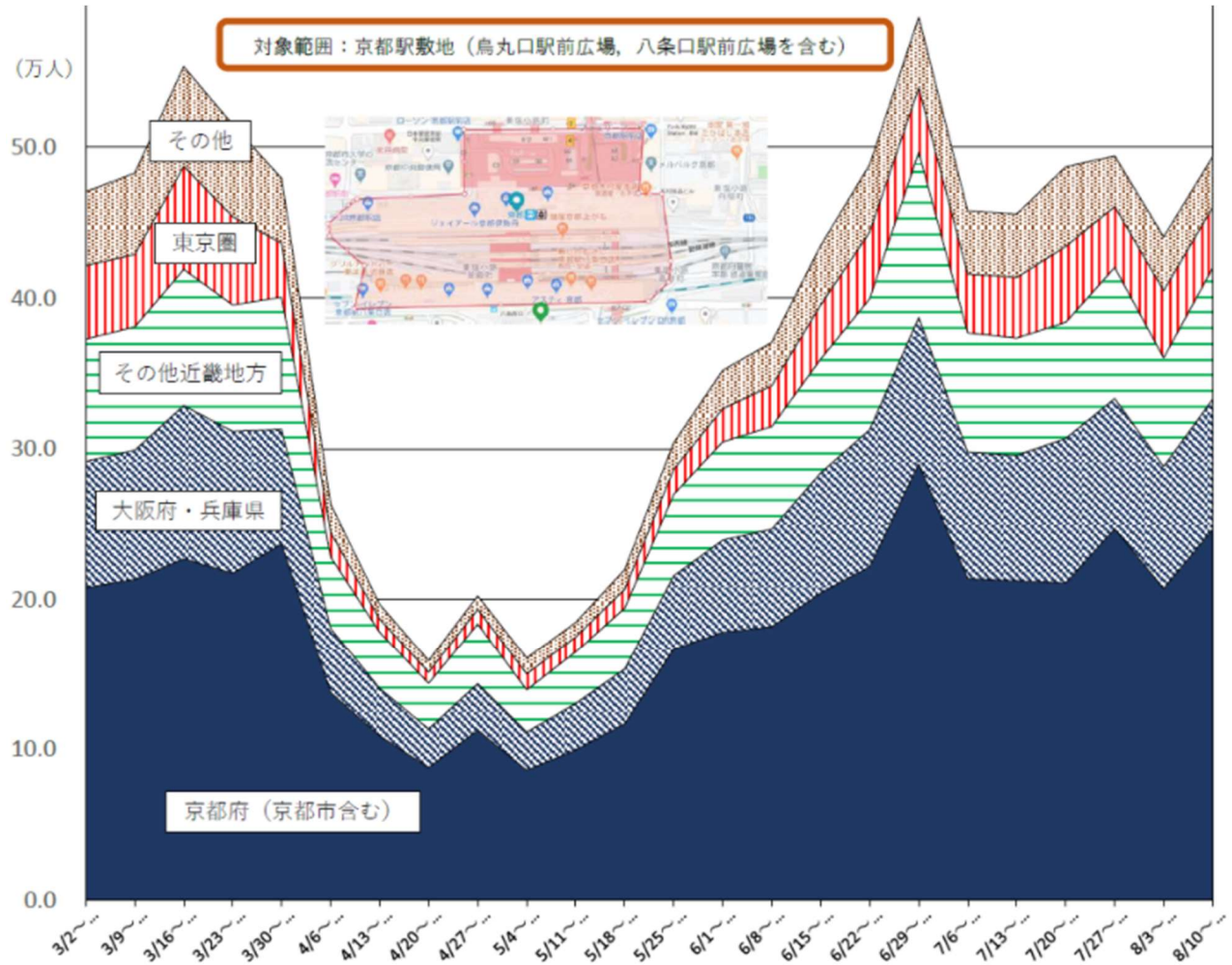
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12 週先の週末までの 12 回分のデータを取得
調査対象	Booking.com で京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格 (類似サイトと比較して、データの収集が容易であることから Booking.com を採用している)
検索条件	「1 室 2 名食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」 この条件で表示される 1,500 件程度のうち、重複や不詳などを除いた約 1,000 件から価格を集計。 (京都市内の宿泊施設約 4,000 件の 25%をカバー)
集計条件	異常に高額な施設（外れ値）の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P10 の STR 社による平均客室単価（ADR）は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

検索日別、チェックイン日別の客室販売価格（中央値）の推移

宿泊日	検索日												
	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	7月7日	7月15日	7月21日	7月28日	8月4日	8月11日	8月18日	8月25日
6月6日	12,543												
6月13日	12,540	12,000											
6月20日	12,900	11,723	12,000										
6月27日	13,000	12,000	11,785	12,000									
7月4日	15,000	13,000	13,000	12,125	12,600								
7月11日	15,000	14,560	13,410	13,550	12,600	12,900							
7月18日	16,740	15,120	15,000	14,300	13,200	12,890	12,840						
7月25日	18,000	16,500	16,380	15,000	14,761	15,000	13,272	12,775					
8月1日	17,955	16,450	16,200	15,602	16,000	15,000	13,605	12,623	12,363				
8月8日	18,000	17,600	18,309	18,950	17,000	17,241	15,667	15,000	13,500	13,016			
8月15日	19,318	17,903	17,765	18,000	18,000	16,865	16,869	15,000	14,964	12,600	13,266		
8月22日	17,670	16,000	16,000	15,120	16,000	15,000	15,000	13,876	12,906	12,421	12,000	11,295	
8月29日		15,600	15,800	15,512	15,000	15,001	14,119	13,358	13,000	12,852	12,800	12,400	12,000
9月5日			16,204	15,552	15,900	15,113	15,300	14,850	15,000	14,210	14,000	12,870	13,266
9月12日				16,000	15,870	16,000	15,411	15,000	14,500	14,000	14,447	13,000	14,560
9月19日					19,290	18,948	18,000	17,500	17,600	15,870	16,450	15,430	14,410
9月26日						16,215	15,855	15,000	15,000	14,700	14,236	13,535	14,062
10月3日							19,000	17,600	18,360	16,473	18,000	16,865	15,730
10月10日								17,600	18,380	16,740	17,960	16,065	16,020
10月17日									18,000	18,200	17,460	17,230	17,000
10月24日										17,174	18,000	17,000	16,500
10月31日											18,911	16,821	16,530
11月7日												18,900	19,200
11月14日													21,431

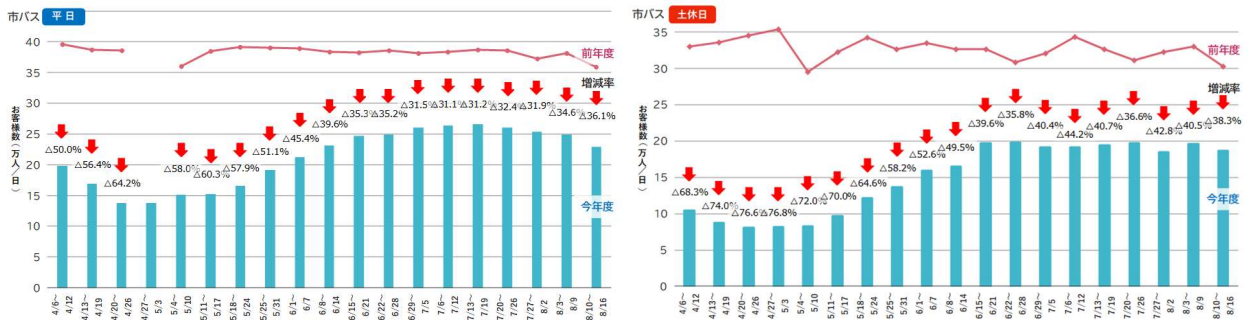
【参考 6】ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

出身地域別の来訪者数の推移（京都駅）

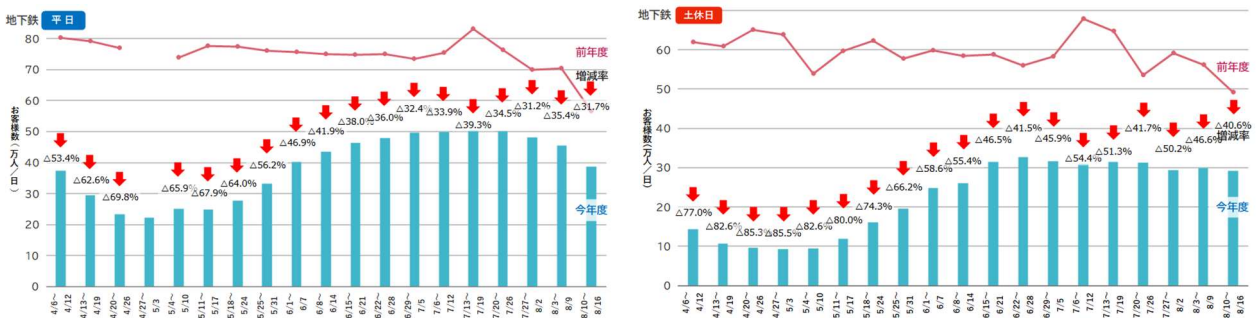


出典）京都市情報館「新型コロナウイルス感染症 最新の動向 来訪者数の推移」

市バスの利用状況（平日・土休日の増減率の週次推移）



市営地下鉄の利用状況（平日・土休日の増減率の週次推移）

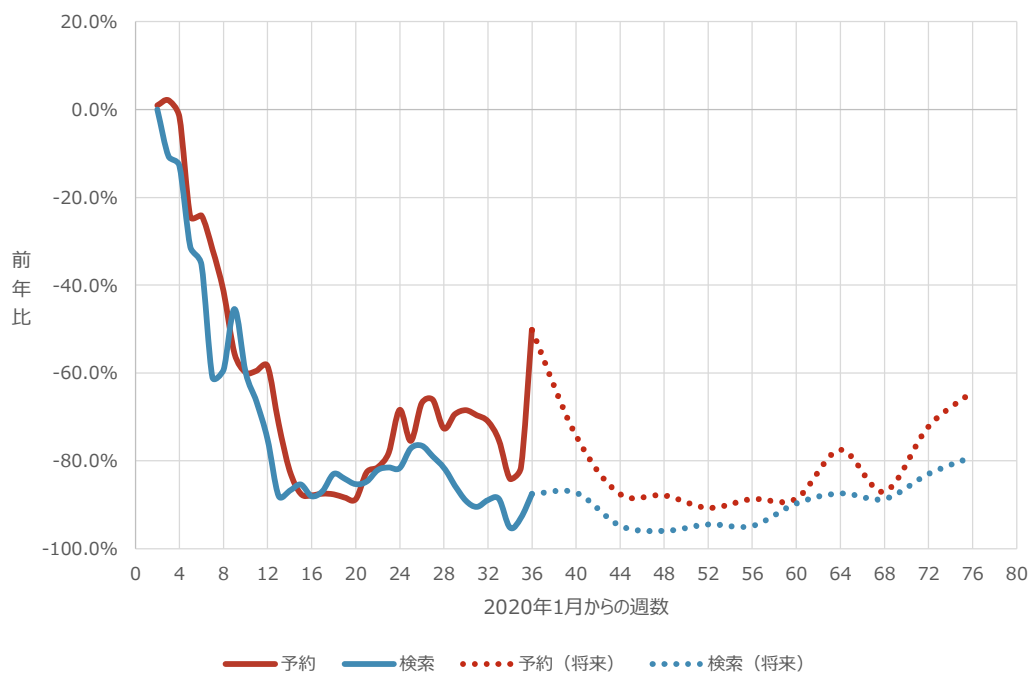


出典）京都市交通局「市バス・地下鉄のご利用状況について」

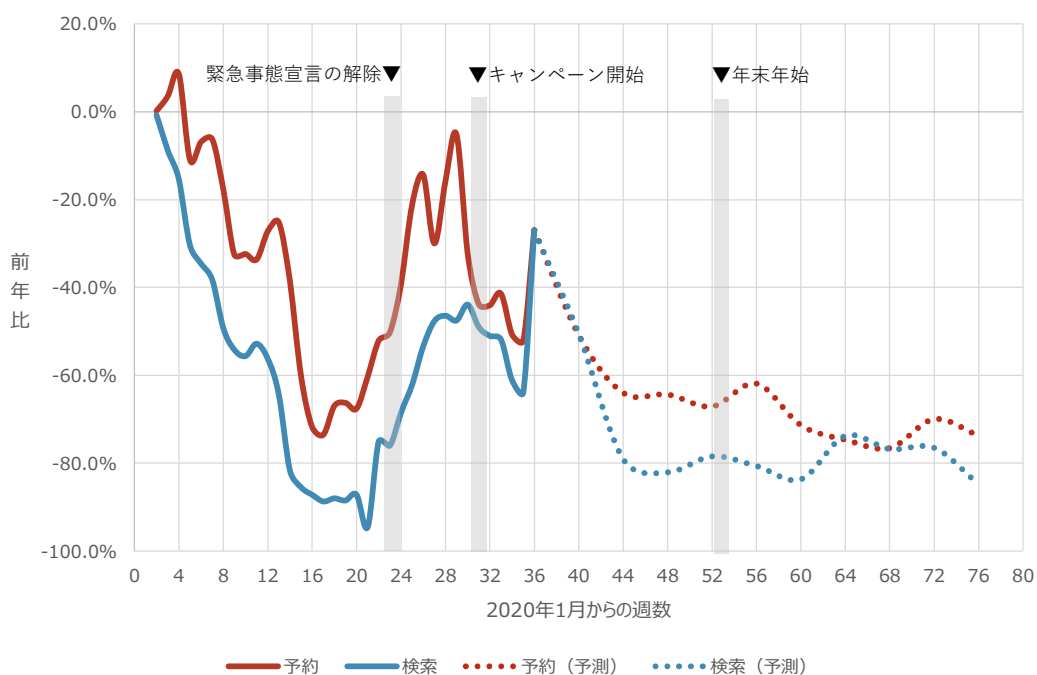
【参考 7】 今後の需要見通しに関するデータ（2020年8月27日時点）

- Sojern 社が提携する全世界の航空および宿泊の予約サービスをもとにしたデータによると、航空需要は旅行直前に急増しているものの、依然として前年比 50%を下回る水準が続いている。
- 宿泊需要は、Go To トラベル キャンペーン開始前に前年並みの水準に回復する勢いであったが、感染者数の増加によって警戒感が高まったことで再び減少に転じ、秋以降は低水準が続く。
- 航空需要と比べると宿泊需要のほうが比較的減少幅が小さいことから、航空機での移動を伴わない旅行をする人が増えていると推察される。

国内旅行および訪日旅行における航空検索・予約行動の推移



国内旅行および訪日旅行における宿泊検索・予約行動の推移



出所) Sojern's Real-Time COVID-19 Travel Data Insights Dashboard をもとに作成

- 国際航空路線も回復が進んでおり、8月に入ると前年比20～30%減程度となっている。欧米諸国も徐々に便数が回復している一方で、香港とシンガポールは依然として前年比90%を超える減少幅が続いている。

主要国における出発国際便の前年同期比の推移

エリア	4月	5月	6月				7月				8月			
			6/1	6/8	6/15	6/22	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24
全世界	-64.5%	-68.6%	-65.1%	-64.8%	-62.6%	-62.9%	-55.3%	-52.4%	-51.1%	-48.7%	-46.6%	-47.9%	-47.5%	-47.4%
日本	-40.3%	-47.1%	-47.8%	-48.6%	-42.6%	-41.0%	-39.8%	-39.0%	-33.1%	-32.0%	-26.8%	-27.5%	-32.0%	-35.8%
韓国	-56.7%	-49.5%	-46.1%	-50.8%	-50.5%	-50.5%	-49.9%	-48.7%	-46.7%	-42.3%	-41.5%	-41.1%	-40.2%	-40.2%
中国	-42.6%	-28.8%	-19.8%	-21.2%	-17.9%	-23.9%	-22.5%	-14.6%	-10.7%	-10.9%	-10.8%	-10.5%	-8.0%	-6.6%
香港	-93.5%	-90.4%	-89.0%	-90.3%	-90.6%	-90.6%	-91.1%	-91.3%	-91.5%	-91.2%	-91.5%	-91.6%	-91.1%	-90.8%
シンガポール	-93.8%	-96.6%	-96.1%	-95.4%	-95.0%	-95.0%	-93.9%	-94.6%	-95.1%	-93.0%	-92.7%	-91.8%	-92.2%	-94.3%
インド	-83.3%	-56.6%	-66.3%	-70.2%	-68.1%	-71.5%	-64.7%	-63.4%	-61.3%	-61.7%	-58.7%	-60.8%	-58.8%	-60.5%
UAE	-81.1%	-79.1%	-81.9%	-80.9%	-79.6%	-79.3%	-72.6%	-68.0%	-68.6%	-66.2%	-64.6%	-66.0%	-63.3%	-62.8%
オーストラリア	-82.6%	-83.2%	-82.6%	-81.6%	-79.3%	-78.2%	-74.3%	-74.9%	-74.0%	-75.5%	-75.7%	-76.1%	-75.1%	-74.7%
米国	-56.9%	-74.2%	-71.8%	-67.9%	-66.6%	-65.1%	-53.1%	-51.9%	-51.8%	-49.7%	-47.5%	-47.2%	-46.5%	-44.3%
イギリス	-92.3%	-93.4%	-93.6%	-93.3%	-87.5%	-85.8%	-83.1%	-76.0%	-75.4%	-72.1%	-66.1%	-64.9%	-64.1%	-63.2%
フランス	-90.6%	-91.7%	-91.5%	-90.0%	-85.0%	-83.3%	-68.2%	-63.0%	-59.3%	-53.4%	-49.5%	-48.4%	-49.3%	-49.2%
ドイツ	-92.9%	-91.3%	-91.4%	-88.8%	-84.9%	-83.8%	-73.8%	-71.1%	-69.2%	-66.8%	-62.7%	-62.9%	-63.9%	-65.6%
イタリア	-85.6%	-83.3%	-91.3%	-90.3%	-86.4%	-84.1%	-67.2%	-64.4%	-62.9%	-57.6%	-50.3%	-50.1%	-50.2%	-50.4%
スペイン	-94.0%	-93.3%	-93.1%	-93.9%	-89.8%	-84.1%	-69.1%	-60.6%	-57.6%	-52.7%	-45.5%	-44.6%	-45.3%	-46.3%
スウェーデン	-87.0%	-88.6%	-86.2%	-86.8%	-83.2%	-79.1%	-74.7%	-73.4%	-74.0%	-74.0%	-70.9%	-72.8%	-71.3%	-71.1%

出典) OAG Global Scheduled Flights Change year-over-year

【参考 8】 為替レートの推移

月平均 Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

(数値が小さくなるほど、円高となり、外国人観光客にとっては不利)

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2018	1月	109.9	133.8	149.4	86.3	13.8	0.263	17.0	3.40	10.2
	2月	107.0	132.0	147.1	83.1	13.4	0.268	16.8	3.36	9.8
	3月	105.1	129.4	144.2	80.4	13.1	0.273	16.5	3.31	9.7
	4月	106.4	130.6	147.5	80.7	13.3	0.271	16.8	3.36	9.9
	5月	108.7	128.2	143.9	80.6	13.6	0.270	17.0	3.35	10.0
	6月	109.0	126.9	142.2	80.5	13.6	0.271	16.7	3.31	9.9
	7月	110.4	128.7	142.7	80.5	13.8	0.272	16.3	3.27	9.7
	8月	110.1	126.8	139.1	79.5	13.7	0.274	15.9	3.28	9.7
	9月	110.9	128.9	142.1	78.5	13.9	0.273	16.0	3.35	9.8
	10月	111.8	128.1	142.8	78.2	14.0	0.271	16.0	3.37	9.8
	11月	112.4	127.3	142.3	80.1	14.1	0.270	16.1	3.36	9.9
	12月	111.5	126.4	138.5	78.9	14.0	0.272	16.0	3.36	9.8
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7

※韓国ウォンは 100 ウォンあたりのレート

出所) 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細 (2020年7月)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2020年(7月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比	2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比	2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比
北米	アメリカ	93	16,499	-99.4%	27.0%	12.1%	139	42,246	-99.7%	24.0%	13.6%	102	19,199	-99.5%	24.0%	12.8%
	カナダ	1	2,185	-100.0%	0.3%	1.6%	3	5,864	-99.9%	0.5%	1.9%	2	2,562	-99.9%	0.5%	1.7%
	北米小計	94	18,684	-99.5%	27.3%	13.7%	142	48,110	-99.7%	24.5%	15.4%	104	21,761	-99.5%	24.5%	14.5%
中南米	メキシコ	0	1,367	-100.0%	0.0%	1.0%	0	4,121	-100.0%	0.0%	1.3%	0	1,661	-100.0%	0.0%	1.1%
	ブラジル	0	811	-100.0%	0.0%	0.6%	0	2,502	-100.0%	0.0%	0.8%	0	1,025	-100.0%	0.0%	0.7%
	その他	6	556	-98.9%	1.7%	0.4%	18	1,644	-98.9%	3.1%	0.5%	13	719	-98.2%	3.1%	0.5%
	南米小計	6	2,734	-99.8%	1.7%	2.0%	18	8,267	-99.8%	3.1%	2.7%	13	3,405	-99.6%	3.1%	2.3%
ヨーロッパ	イギリス	9	2,994	-99.7%	2.6%	2.2%	10	7,223	-99.9%	1.7%	2.3%	15	3,595	-99.6%	3.5%	2.4%
	フランス	6	2,866	-99.8%	1.7%	2.1%	35	8,361	-99.6%	6.0%	2.7%	21	4,161	-99.5%	4.9%	2.8%
	ドイツ	3	1,206	-99.8%	0.9%	0.9%	14	3,621	-99.6%	2.4%	1.2%	8	1,977	-99.6%	1.9%	1.3%
	イタリア	2	2,707	-99.9%	0.6%	2.0%	8	7,928	-99.9%	1.4%	2.5%	4	3,998	-99.9%	0.9%	2.7%
	オランダ	0	1,240	-100.0%	0.0%	0.9%	0	3,125	-100.0%	0.0%	1.0%	0	1,554	-100.0%	0.0%	1.0%
	スペイン	0	5,492	-100.0%	0.0%	4.0%	0	14,051	-100.0%	0.0%	4.5%	0	6,846	-100.0%	0.0%	4.6%
	スイス	4	867	-99.5%	1.2%	0.6%	20	2,454	-99.2%	3.5%	0.8%	10	1,192	-99.2%	2.4%	0.8%
	スウェーデン	0	440	-100.0%	0.0%	0.3%	0	1,168	-100.0%	0.0%	0.4%	0	555	-100.0%	0.0%	0.4%
	フィンランド	1	122	-99.2%	0.3%	0.1%	4	409	-99.0%	0.7%	0.1%	3	235	-98.7%	0.7%	0.2%
	ロシア	10	276	-96.4%	2.9%	0.2%	11	1,119	-99.0%	1.9%	0.4%	7	647	-98.9%	1.6%	0.4%
	その他	9	3,509	-99.7%	2.6%	2.6%	17	10,581	-99.8%	2.9%	3.4%	21	5,223	-99.6%	4.9%	3.5%
ヨーロッパ小計	44	21,719	-99.8%	12.8%	15.9%	119	60,040	-99.8%	20.6%	19.3%	89	29,983	-99.7%	20.9%	19.9%	
東アジア	中国	73	58,086	-99.9%	21.2%	42.5%	89	125,278	-99.9%	15.4%	40.2%	67	60,634	-99.9%	15.8%	40.3%
	台湾	9	15,359	-99.9%	2.6%	11.2%	2	24,119	-100.0%	0.3%	7.7%	6	11,626	-99.9%	1.4%	7.7%
	香港	8	3,607	-99.8%	2.3%	2.6%	24	8,158	-99.7%	4.1%	2.6%	16	3,862	-99.6%	3.8%	2.6%
	韓国	3	4,622	-99.9%	0.9%	3.4%	7	8,774	-99.9%	1.2%	2.8%	5	4,606	-99.9%	1.2%	3.1%
	東アジア小計	93	81,674	-99.9%	27.0%	59.8%	122	166,329	-99.9%	21.1%	53.4%	94	80,728	-99.9%	22.1%	53.7%
東南アジア	フィリピン	2	332	-99.4%	0.6%	0.2%	8	788	-99.0%	1.4%	0.3%	7	395	-98.2%	1.6%	0.3%
	ベトナム	0	221	-100.0%	0.0%	0.2%	0	382	-100.0%	0.0%	0.1%	0	209	-100.0%	0.0%	0.1%
	タイ	2	849	-99.8%	0.6%	0.6%	9	1,511	-99.4%	1.6%	0.5%	8	782	-99.0%	1.9%	0.5%
	インドネシア	3	689	-99.6%	0.9%	0.5%	3	1,597	-99.8%	0.5%	0.5%	2	779	-99.7%	0.5%	0.5%
	マレーシア	7	362	-98.1%	2.0%	0.3%	7	863	-99.2%	1.2%	0.3%	7	396	-98.2%	1.6%	0.3%
	シンガポール	17	1,027	-98.3%	4.9%	0.8%	9	2,475	-99.6%	1.6%	0.8%	16	1,292	-98.8%	3.8%	0.9%
	インド	7	498	-98.6%	2.0%	0.4%	11	1,179	-99.1%	1.9%	0.4%	7	644	-98.9%	1.6%	0.4%
	その他	45	852	-94.7%	13.1%	0.6%	68	1,551	-95.6%	11.7%	0.5%	39	884	-95.6%	9.2%	0.6%
	東南アジア小計	83	4,830	-98.3%	24.1%	3.5%	115	10,346	-98.9%	19.9%	3.3%	86	5,381	-98.4%	20.2%	3.6%
中東	イスラエル	0	334	-100.0%	0.0%	0.2%	0	772	-100.0%	0.0%	0.2%	0	414	-100.0%	0.0%	0.3%
	カタール	0	69	-100.0%	0.0%	0.1%	0	63	-100.0%	0.0%	0.0%	0	64	-100.0%	0.0%	0.0%
	UAE	0	96	-100.0%	0.0%	0.1%	0	211	-100.0%	0.0%	0.1%	0	124	-100.0%	0.0%	0.1%
	サウジアラビア	0	22	-100.0%	0.0%	0.0%	0	103	-100.0%	0.0%	0.0%	0	43	-100.0%	0.0%	0.0%
	トルコ	0	54	-100.0%	0.0%	0.0%	0	121	-100.0%	0.0%	0.0%	0	76	-100.0%	0.0%	0.1%
	その他	0	186	-100.0%	0.0%	0.1%	0	568	-100.0%	0.0%	0.2%	0	290	-100.0%	0.0%	0.2%
	中東小計	0	761	-100.0%	0.0%	0.6%	0	1,838	-100.0%	0.0%	0.6%	0	1,011	-100.0%	0.0%	0.7%
オセアニア	オーストラリア	2	4,171	-100.0%	0.6%	3.1%	14	11,446	-99.9%	2.4%	3.7%	9	5,426	-99.8%	2.1%	3.6%
	ニュージーランド	0	355	-100.0%	0.0%	0.3%	0	972	-100.0%	0.0%	0.3%	0	460	-100.0%	0.0%	0.3%
	その他	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	39	-100.0%	0.0%	0.0%	0	23	-100.0%	0.0%	0.0%
	オセアニア小計	2	4,526	-100.0%	0.6%	3.3%	14	12,457	-99.9%	2.4%	4.0%	9	5,909	-99.8%	2.1%	3.9%
アフリカ	0	243	-100.0%	0.0%	0.2%	0	443	-100.0%	0.0%	0.1%	0	250	-100.0%	0.0%	0.2%	
海外その他	22	1,432	-98.5%	6.4%	1.0%	49	3,618	-98.6%	8.5%	1.2%	30	1,954	-98.5%	7.1%	1.3%	
外国人合計	344	136,603	-99.7%			579	311,448	-99.8%			425	150,382	-99.7%			
日本人合計	82,627	149,080	-44.6%			115,449	231,582	-50.1%			74,022	146,563	-49.5%			
合計	82,971	285,683	-71.0%			116,028	543,030	-78.6%			74,447	296,945	-74.9%			

	2020	2019	伸率・前年同月差
販売可能客室数	370,183室	384,992室	-3.8%
稼働客室数	74,447室	296,945室	-74.9%
稼働率	20.1%	77.1%	57.0ポイント減
外国人比率 (延べ人数ベース)	0.5%	57.4%	56.9ポイント減
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	0.6%	50.6%	50.0ポイント減

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。

(1)調査時期: 2020年7月1日~2020年7月31日

(2)対象施設数: 61ホテル(12,776室)

